

くらし	3・4面	施設	4面
▶住民税・軽自動車税(種別割)・国民健康保険料の納付 クレジット納付・ペイジー納付が始まります		人材募集	3面
福祉	4面	保健・衛生	4面
		▶自宅でできる健康体操 ▶乳幼児健康診査での感染症予防のお願い	

しんじゅくコール ☎03-3209-9999  
 土・日曜日、夜間もご案内  
 受付時間:午前8時~午後10時  
 FAX 03-3209-9900

聴覚に障害がある方で「ファックス番号のない記事」へのお問い合わせは、しんじゅくコールのファックスをご利用ください。

★広報新宿3月15日号は、8ページではなく、4ページでの発行となります。

## 令和2年度区政の基本方針を表明

# 誰もが住みたい、住み続けたいと思える持続的に発展する新宿のまちを目指して

令和2年第1回区議会定例会の開会に当たり吉住健一区長は、区政の基本方針について所信を表明しました。今回は、その概要をお知らせします。要旨は、新宿区ホームページをご覧ください。

【問合せ】企画政策課(本庁舎3階) ☎(5273)3502・☎(5272)5500へ。



## 区政に対する基本姿勢

我が国の経済情勢を見ますと、景気は、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しなどを背景に、緩やかに回復しています。しかしながら、その先行きについては、海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、昨年10月の消費税率引き上げが、今後どのような影響をもたらすのか、注視していく必要があります。

区財政は、一定の財政対応力を身に付けつつありますが、経常収支比率は、依然として適正水準を超えており、区の財政構造は決して弾力性があるとは言えません。また、法人住民税の一部国税化やふるさと納税等、不合理な税制改正による減収が懸念されるなど、区財政を取り巻く環境は、依然として不透明であり、予断を許しません。

このような中、「『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち」の実現に向けて、高齢者や障害者、子育て世代への支援など、誰もがいきいきと心豊かに暮らし続けられる環境の整備、災害に強い安全で安心なまちづくり、魅力と賑わいにあふれ、環境にも優しい都市の創造、そして、東京2020オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた取り組みを進めていかなければなりません。

このため、現場・現実に向き合い、地域課題に果敢に挑戦することで、誰もが住みたい、住み続けたいと思える持続的に発展する新宿のまちの実現に向けて、力を尽くしていきます。

## 令和2年度の区政運営の基本認識

令和2年度は、第一次実行計画が最終年度を迎えます。各施策が、将来大きな成果をもたらすよう、また、次期計画の橋渡しとなるよう、着実に取り組んでいきます。

### I 暮らしやすさ1番の新宿

子どもや若者、高齢者、障害者など区民一人一人が暮らしやすさを実感でき、心豊かに暮らし続けられるまちづくりを推進します。

このため、健康寿命の延伸に向けた施策の充実や地域包括ケアシステムの推進、障害者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるまちの実現、安心できる子育て環境の整備、教育の充実、地域コミュニティの活性化などに取り組んでいきます。



▲父親とお子さんで楽しむ子育て講座(ささえーる 葉王寺)

### II 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

近年の大型台風や局地的集中豪雨による風水害への対策、切迫性が高まる首都直下地震等への対応に取り組めます。

このため、防災意識の啓発や建築物の耐震化など、災害に強い、逃げないですむまちづくりを目指します。さらに、客引き行為の防止、特殊詐欺対策などに取り組む、安全で安心なまちを実現します。

### III 賑わい都市・新宿の創造

商業・業務・文化・居住機能などが集積する多様性に富んだ新宿区の都市機能や都市環境を活かし、持続的に発展する新宿を創造していきます。

このため、都市基盤整備、産業振興や商店街支援、文化・観光・スポーツの振興などの施策を推進し、国際観光都市・新宿の魅力を国内外に広く発信していきます。

### IV 健全な区財政の確立

限りある財源の中で効果的・効率的な行財政運営を行うため、行政評価制度等によるPDCAサイクルの強化、業務改善、公民連携の推進などに取り組めます。

### V 好感度1番の区役所

多様化・複雑化する区政課題に的確に対応するとともに、解決するための施策を立案・実行できる職員の育成に取り組むことで、区民の信頼に応える好感度1番の区役所の実現を目指します。

### 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて

東京2020大会の開催を契機とする施策が、未来を担う子どもたちをはじめ、多くの区民の皆さまの記憶に残るよう、また、大会終了後のレガシーとして継承され、発展していくよう、取り組んでいきます。

▲アスリートによる走り方教室



### 持続的に発展し続ける新宿のまちの創造に向けて

区政を取り巻く社会経済情勢は目まぐるしく変化しており、区に求められる行政サービスも多様化・複雑化しています。

今後も、区政に対する2つの基本姿勢である「現場・現実を重視した柔軟かつ総合性の高い区政」と「将来を見据えた政策の優先順位を明確にした区政」のもと、持続的に発展し続ける新宿のまちの創造に向けて、全力で取り組んでいきます。

## 区民の皆さまへメッセージ

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、区民の皆さまには大変ご不便をおかけしております。区では、ウイルス感染の流行を防ぐため、イベントを原則的に中止し、一部施設も休館することとしました。また、政府の要請を受け、学校も休校とすることといたしました。卒業式については、なるべく実施できるように、各校で対策を検討しています。区民生活への影響をできる限り低減するため、仕事を休むことができないご家庭の小さなお子様が昼間過ごす場所でもある、保育園や幼稚園、子ども園、学童クラブは運営することとしました。その他、消毒用の物品を確保し、区内の高齢者や障害者、児童が利用する施設に重点的な配置をしています。

現在、区内の個人商店や中小企業の経営者の皆さまに向けては、産業振興課で中小企業診断士による相談窓口を増設し、緊急融資のご相談もさせていただいています。ぜひ、ご活用ください。

100年前に大流行したスペイン風邪では、2つの市の対応の違いが明暗を分けました。フィラデルフィア市では通常の生活を続け、ピーク時の1週間で人口10万人あたり250人の死者を出し、セントルイス市ではイベントを中止し、学校やダンスホールなどを閉鎖した結果、人口10万人あたりの死者を30人に抑えることができました。感染防止は自分の健康を守るだけでなく、大切な家族や仲間を守る為にも大切なことです。当面の間、慎重に対応することで、流行を防ぎ、一日も早い終息に結びつけていきたいと思っております。どうか、区民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

区長 吉住 健一  
 よしずみ けんいち

イベント・催し等の開催の有無や区施設等の休館等は事前にご確認ください

イベント・催し等については、新型コロナウイルス感染症への対応として、中止や規模等を縮小しての開催となる場合があります。イベント・催し等の開催の有無等については、事前に、新宿区ホームページが各主催者に直接、ご確認ください。また、休館している区施設等もありますので、事前にご確認ください。